

2012年10月15日

先端理工学専攻各位

主任：安江常夫

世話人：越川孝範

大学院ゼミナールのご案内

今回は特別講義として世界的に著名な外村グループで電子線ホログラフィーとその応用に関する研究を行って以来、一貫してこの分野の研究を行って来ておられます名古屋大学教授の丹司（たんじ）先生に講演をお願いしました。この分野では大変著名な方です。電子顕微鏡の多面性を理解していただければと思います。

ぜひご出席をお願いします。

尚、院生は必須ですので必ず出席してください。

記

1. 日時：2012年10月30日（火）午後5時から
2. 場所：J-514
3. 講師：丹司 敬義 教授（名古屋大学エコトピア科学研究所）
4. 題目：電子線ホログラフィーの基礎から応用まで

「要旨」

1948年D. Gaborにより考案されたホログラフィーは、電子顕微鏡のレンズが持つ収差を補正し、その分解能の向上を目指したものであったが、電子線によるホログラフィーが実用化されたのは、1970年代後半になってからであった。本講演では、Gaborの考案によるin-line型のホログラフィーを紹介した後、現在主流となっているoff-axis型のホログラフィーについて詳述し、ナノスケールでの電磁界観察への応用として、磁性材料、半導体デバイス、燃料電池等の研究例について紹介する。

以上